



高蔵寺ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会  
代表：寺島靖夫  
事務局 春日井市押沢台 6-11-13 (寺島)  
連絡先 090-9899-4499 (カスヤ)  
<https://www.hanamomonokai.com/>

早や一年経ちました

## 林さん没後一年、思い出茶話会

9月30日



会の設立メンバーであり、当会の顔として大きな存在だった故・林明代さんは10月1日が命日です。先日の安倍前総理の国葬儀で菅前総理が「あれからも朝は来て、日は暮れていきます。(中略)季節は、歩みを進めます」と話された言葉通り、容赦なく時は移り変わり、喪失感に思考停止することは許されないのだと思い知らされた一年でした。淡々とやるべき事をやったら一年経ってしまったというのが実感です。でも命日の前日ぐらい、多くの人に愛された人を思い出して語り合うのもいいなと茶話会を開催しました。お彼岸を過ぎて多少朝夕は涼しさを感じるようになったのに、この日は夏に戻ったかのような暑さと日差し。急遽ブルーシートで簡易なタープを設置してもらい、青色に染まった顔を見合わせての楽しいひと時でした。



林さんも笑顔写真でしっかり参加。出席者の一人が持って来られた花束はこの後お仏壇に供えて頂きました



林さんのご主人も顔を見せて下さいました。どんぐりの森のデイサービスに通っていらっしゃる。



いつもは活動の休憩時間に行うサポーター活動10回の謝礼贈呈。目下バージョンアップを検討中。



こんな感じのポチ袋を手作りして、その中にお礼の品を入れていきます

準備撤収合わせて2時間という設定でしたがちょっと歓談が短すぎたかなレイアウト含めて再度検討です。こういったお喋りの時間も会の大きな要素です

### 特報！

このたび当「高蔵寺ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会」は地道で継続的な活動が認められ、今年度の「春日井市環境まちづくり推進表彰」を頂くことが決定しました。これもひとえに会員の皆様、サポーターの皆様のご尽力の賜物であると、心から感謝申し上げます。表彰は12月10日(土)春日井市民環境フォーラムにて行われる予定です。これで一昨年の環境省の「みどり香るまちづくり企画コンテスト」、昨年の「花のまちづくりコンクール」に続き、三年連続での受賞。取組みを評価して頂けるというのは、本当に嬉しいですね。



## 告知

「秋の里親  
大作戦」に  
チャレンジ  
します！！

6年間続けてきた「ひまわり里親大作戦」に代わり、今年は秋に種まきした春の花苗を多くの人に託す「秋の里親大作戦」を試行することにしました。

プロジェクトメンバーであり毎年ご自宅でオープンガーデンを催すYさんのご指導のもと、9月2日に種をまいたパンジーとビオラの幼苗を一本ずつポットに移し、またノースポールの種をポットに蒔き、それらを各家庭で育てて頂きます。

11月末に育った苗を持ち寄り「あきよ花壇」に移植する予定。

詳細・日程は「お手入れ活動」告知メールでお知らせいたします。10月2日現在の幼苗の様子



### Topic1 イノシシ達が高森台県有地にも！！

8月30日の朝、どんぐりの森のスタッフさんが「どんぐりの家の花壇や畑がズタズタにされてる！」行ってみると、まさにイノシシ達が荒らし回った跡。あまりのむごい光景に言葉を失いました。

どんぐりの家に接するハナモモ斜面の一部も、敷設した木質チップが掘り返されて茶色い地表がむき出しになっていました。林さんがオーナーになっているハナモモも名札と支柱が倒されていましたが幸いハナモモは無傷。

外周道路を渡って住宅地の方までやってきたのでしょうか。今後夜歩いててイノシシの群れに遭遇する事もありそうで怖いです。

近隣の方くれぐれもご注意を！



### Topic2 ハナモモ、今年は水枯れより虫害が

9月26日、全てのハナモモにスミチオンという薬剤を散布しました。今年は夏季にハナモモ活着に欠かせない散水はほとんど必要なかったのですが、そのかわりコナジラミとみられる小さな虫が葉にビッシリとくっつき、飛び交い、幹には桃の天敵・コスカシバが開けた穴に樹液と糞とのゼリー状の塊。

特にコスカシバは木を弱らせてしまうというので、都市緑化植物園「みどりの相談室」に勧められ殺虫剤を散布したわけです。あと一回、10月中に再度散布すると効果が高まるそうです。

来年も赤白ピンクに華やく斜面になりますようにと祈る思いです。



二〇二二年の今年は、ご先祖様の位牌や、過去帳もパソコンの前に用意した。ちゃんと服も着替え、数珠を手にし、画面から流れる読経で、厳かな供養の時間を持てた。読経がオンラインで空を飛ばせば、天空のご先祖様により届くと考えるのは、可笑しいかな？



初回の二〇二〇年のお盆。送られたURLを読経開始時間にクリックすると、まず映し出されたのは、まだTシャツ姿のお上人が、祭壇前で何やら準備される様子。待つこと一時間。装束を整えられ、やっどご登場となり、読経が開始された。私はこの初体験を、呆然と眺めるだけで、読経を唱える心境では全くなっていなかった。が、お寺の祭壇に、当家の塔婆が掲げられているのを目にしてからは、心が引き締まった次第である。

コロナ禍の盂蘭盆施餓鬼供養は、何とリモートで行うことになっている。地元を離れている檀家への、菩提寺の苦肉の策かと思われる。これは今風で便利と、喜ばしく思うことにはしている。しかし、これを挙行するには、お寺と檀家の双方には、多くのハードルがあった。

クスッと笑える今どきの法事のお話です。

【寄稿】オンラインで供養

時実 正美

☆皆様からの、何気ない日常のひとこまを綴った寄稿をお待ちしています。

【編集後記】前号を発行してからの活動が5回だけ…今年は本当に雨に泣かされています。そんな中でコツコツと活動に参加して下さるサポーターさんには参加10回ごとにお礼を差し上げています。中身は金券、そして封筒には感謝のヘタクソな絵を添えて(笑)。こんな私たちの活動に加わって下さる会員やサポーターを絶賛募集中です。またしばらく(全く)活動に参加していない会員・サポーターの方も大歓迎！毎月10、20、30日9:00～11:00(遅刻早退OK)どんぐりの森に是非お越し下さい。